

## 第50期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画

広島市立大学 国際学部 4年 赤畑利奈

2024年 4月

### はじめに

Hola!

メキシコ生活も6か月。日が経つに連れ挑戦したいことが増え、時間が足りないとあせる自分があります。4月末からは雨が降るようになり、雨季の始まりを感じています。日本のように1日中雨が降るわけではないですが、突然降ったかと思えばカラッと晴れることもあり、なかなか読めない気候です。メキシコの方は少々の雨には動じず、傘もささずに歩いていて、驚きました。今月は報告書にもたびたび登場した、私たち日墨生が通う語学学校、El Centro de Enseñanza Para Extranjeros、通称 CEPE（セペ）を紹介します。



CEPE の正門

### 語学学校 CEPE

私たちが日々スペイン語を学んでいる語学学校 CEPE はメキシコシティの南側にあるメキシコ国立自治大学 UNAM の敷地内 (大学都市 C.U.) にあります。UNAM の敷地は広大で、自転車の貸し出しや無料バスが通っています。中央図書館及び大学の建物に描かれている壁画は世界遺産にも指定されています。大学内では露店が立ち並びご飯やお菓子、文房具、民芸品なども売っています。私のお気に入りは哲文学部の周辺にある屋台のパン・バス (タコス の具を挟んだサンドイッチ) とチュロスです。学生向けなのでそんなに高くなくオススメです。



おすすめのパンバスと  
チュロス



UNAM 中央図書館



CEPE には世界各国からスペイン語を学びに来ており、中国、韓国のアジア圏やドイツ、イタリア、ロシア、アメリカなど国籍はさまざまです。そのためメキシコ人以外の友達を作ることができます。校内にはカフェテリアや図書館、講堂などがあり、毎週水曜日・金曜日にはイベントが行われています。例えば、卓球大会やメキシコのボードゲーム体験、テーマを決めて議論を行う charlar などがあります。また放課後のツアーに参加すれば、UNAM 施設や博物館などを先生の説明を聞きながらめぐることができます。

### スペイン語の授業

スペイン語のレベルは0から8までです。グループ分けをすると0~2、3~6、7~8で難しさが異なり、グループごとにグラデーションのような形で振り返りを行いつつ、満遍なく文法や表現方法を学びます。授業では英語も使われますが、基本的にはスペイン語でスペイン語を学びます。1学期約6週間、学期末にはコンピューターテストと会話テストがあり、7割を超えれば合格です。(※日墨生の奨学金基準も7割です) 日墨生のカリキュラムとして、レベル6を終了すれば、実質 CEPE に通う必要はなくなります。インターンやボランティア、許可が降りれば UNAM の講義を受講することも可能です。もちろん CEPE に通い続けることもできます。日墨生の期間中に個人的な活動をしたいと考えている方は、早めにレベル6を終える方がいいかもしれません。お金はかかりますが、飛び級試験を受けることも可能です。ただ結構難しいため、しっかりと勉強しないと行けません。

授業は午前もしくは午後を選択できます。選ぶ人が少ないため午後の方が少人数クラスになりやすいです。生活リズムを崩したくない為、私は午前から始まるクラスを受講しています。午前の場合だと9時から12時、レベル5以上になると11時で終わる日もあります。コーヒーを飲みながら、バナナを食べながら、授業を受けるクラスメイトもいるので、やっぱり海外だなあと感じることもあります。メインの授業のほかに週2回、表現や作文のための授業が12時から13時半まであります。授業時間が長く感じますが、休憩時間もあるので集中して授業を受けることができます。



**板書の一部**  
日本語で書くこともありますが、すぐに見直しができるよう基本的にはスペイン語で板書をとっています。

教科書は CEPE オリジナルのものを使っています。内容はどれもメキシコの文化に焦点を当てたもので、メキシコのスペイン語を学ぶことができます。また日々の生活の中でも「あ！これ授業で習ったものだ」と気づくことが多いので、多様な側面からメキシコを知るきっかけにもなりやすいです。先生方もわからないことがあれば真摯に教えてくれるので、理解できないことは早めに聞くのが一番です。オススメのレストランや観光地など直接授業に関係のないことも教えてくれるため、現地の人ならではの情報を得られます。

環境面では、暑い国と思われているメキシコですが、高地のメキシコシティでは室内気温は基本的に低く、エアコンなど調整できるものがついていません。特に CEPE の教室は陽が入りにくいこともあり夏でも肌寒いのが基本です。冬になると凍えそうになるので体温調節ができる格好で授業に臨むことをおすすめします。

### 文化の授業

スペイン語の授業のほかにメキシコの文化についての授業を受講しています。種類は様々で興味深いものも多くありますが、授業時間と被ると選択できないので要注意です。レベルが上がるほど選択肢が広がり、難易度が上がります。日墨生は1学期に最大2個、文化の授業を受講できますが、課題も出るので対応できる範囲で選ぶことをお勧めします。

私はこれまで「植民地化以前の芸術」「メキシコの音楽及び歌」「サルサ」「伝統舞踊」そして「ノンフィクション文学」についての授業を受講しました。どの授業も興味深く、専門的な単語も多いのでスペイン語の勉強にもなります。またサルサはメキシコ人のパーティでよく踊るので役に立ちました。ほかにもメキシコ革命の歴史や民芸品、写真の撮り方など面白い授業がたくさんあります。日常生活では知ることのできないディープなメキシコを学べる貴重な時間だと思います。せっかくのメキシコ生活なので、CEPEに通われる際は自分の興味関心に沿って文化授業を選択してください。



El Jarabe Tapatío((ハラベ タパティオ)と呼ばれる Guadajarara(グアダハラ)州の伝統舞踊  
タップダンスのように足音を立てながらリズムカルに踊ります。女性は長いスカートをなびかせ、蝶の羽のように動かして踊るのが特徴的です





今回は CEPE について取り上げました。この報告書をご覧になっている第 51 期もしくはそれ以降の参加者の参考になれば嬉しいです。

第 3 学期のテストを終え、次は最終学期になります。ありがたいことに日々予定が入り、忙しくも充実した時間を過ごせています。授業もレベルが上がるにつれ難しくなっていますが、先生方やクラスメイト、日墨生に助けてもらいつつなんとかくらくらしています。最終学期も精一杯取り組んでまいります。

それでは

¡Hasta luego!



#### 4月のお気に入り写真

4月8日、皆既日食を見ました。メキシコシティは7割程度。この日は授業を早めに切り上げ、生徒全員が UNAM の中央広場に集まりました。広場には UNAM の学生だけでなく大勢の人が日食を見るため集まっていました。

専用眼鏡越しの皆既日食

